



新年を迎えて

代表取締役社長 野澤 学

あけましておめでとうございます。

「THE CHEMICAL TIMES」をご愛読の皆様におかれましては、つつがなく良い新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、各地で自然災害が立て続けに発生した大変な1年でした。被災された皆様には心よりお見舞いを申し上げます。

昨今の日本経済は緩やかに成長し、日経平均株価は一時24,400円を超え、1991年11月以来約27年振りの高値となり、バブル崩壊後の最高値圏に到達しました。しかし、昨年10月米国の金利上昇による世界株安連鎖の影響を受けて以来、株価は不安定な状況が続く、サウジリスクによる原油供給も経済の不確実化を引き起こしております。一方、企業は長引く景気後退局面に際して、ムダを廃し、効率を重視した結果、利益を生み出せる構造となり、雇用情勢が改善、有効求人倍率や賃金が上昇しております。今年10月には消費増税が予定されておりますが、むしろ東京オリンピック、IoTや自動車などの成長産業の需要による景気拡大を期待したいところです。

ところで、10月には明るいニュースが飛び込んで参りました。京都大学名誉教授の本庶佑先生がノーベル医学生理学賞を受賞、日本人の同賞の受賞は5人目であり、トータルでは26人目のノーベル賞受賞者となりました。受賞理由は、「免疫抑制の阻害による癌治療法の発見」であり、免疫反応にブレーキをかけるタンパク質PD-1の発見・機能の解明が、新しいがん免疫療法に道を開いたということが評価されました。本庶先生の栄えある受賞を祝し謹んでお喜び申し上げますとともに、今後のご活躍を心よりお祈りいたします。

さて、当社では昨年より紙媒体の試薬総合カタログを廃止し、ホームページ上に「電子版試薬総合カタログ」

をアップしております。ご利用いただいているお客様からは、電子版ならではの検索機能、抽出機能などの面から概ね好評を得ており、さらに今年4月には、皆様からの様々なご意見を反映させて、より使い易いサイトにリニューアルを予定しています。また、同時に電子版の有機試薬専用カタログを新たにリリースする準備を進めているところです。有機試薬カタログの新機能として、母骨格や官能基での抽出、用途による抽出、分子量順での並べ替えなどが付加されます。電子版試薬総合カタログをサポートする強力な化合物検索ツールとしてご活用頂ければと思います。今後も内容の充実、使い易さを向上させて参りますので、忌憚のないご意見を頂ければ幸いです。

科学技術創造立国を目指す日本の技術力の発展には、試薬や分析機器の技術革新も大きく貢献しております。今後も新たな産業を作り出す基盤業界として責任を果たして参る所存です。

本誌は科学の最新的话题を提供するようにますます充実した内容にする様引き続き取り組んで参りますので、皆様のご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

この一年が皆様にとって光輝に満ちた幸多い年でありますように祈念しております。

